

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和06年12月23日

計画の名称	歴史・伝統文化と人が共生する快適なまちづくり													
計画の期間	令和06年度～令和08年度（3年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	白河市													
計画の目標	本市の中心市街地は、400年来の城下町として形成され、白河駅を中心に北側に官公庁、南側に商店街が立地し、行政や経済・文化の中心として発展してきた。また、長い歴史の中で伝統や文化が育まれ、数多くの歴史的・文化的資源や景観資源が残されている。一方、昭和57年の東北新幹線の開業以降、ＪＲ新白河駅周辺において新たな都市基盤が整備され、車社会の進展による生活圏域の拡大、大型小売店舗の中心市街地からの撤退など、社会環境の変化に伴い市街地の低密度化・分散化が進行している。 このため、市庁舎に隣接する市民会館跡地に少子高齢化や人口減少に対応した複合的な機能を有する施設や市民駐車場を整備し、市民サービスの維持向上を図るため、「白河市公共施設等総合管理計画」に基づき、財政負担の軽減を図りながら公共施設の複合化・多機能集約化による再編を行うとともに、新たな賑わいを創出し、中心市街地の活性化を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		973	Ａ	973	Ｂ	0	Ｃ	0	Ｄ	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	％

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4		R8
1	中心市街地における居住人口の増加			
	中心市街地における居住人口の割合 調査基準日における中心市街地を構成する町字の居住人口を住民基本台帳から数え出して調査し割合を算出する。	4%	%	4%
2	中心市街地における歩行者通行者数の増加			
	中心市街地における歩行者数の増加 白河市中心市街地活性化基本計画で設定した中心市街地内8地点における平日歩行者通行者数について、午前10時から午後6時までの間に当該地点を通過した歩行者数を数えることで調査し、それらの合計値により算出する。	2109人/日	人/日	4218人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	白河市	直接	白河市	-	-	暮らし・にぎわい再生事業（中心市街地地区）	立体駐車場 0.5ha	白河市	■	■	■			973	1.20	策定済	
												小計						973		
											合計							973		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	70				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	70				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	70				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					